

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年8月18日(2016.8.18)

【公開番号】特開2015-14662(P2015-14662A)

【公開日】平成27年1月22日(2015.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-005

【出願番号】特願2013-140343(P2013-140343)

【国際特許分類】

G 03 G 15/08 (2006.01)

G 03 G 15/00 (2006.01)

【F I】

G 03 G 15/08 1 1 2

G 03 G 15/00 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月29日(2016.6.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のトナー収容容器と、前記トナー収容容器を駆動するための駆動モータと、前記駆動モータに付帯される駆動ギアの駆動を前記トナー収容容器に伝達するためのギア列と、を有する補給駆動装置を備える画像形成装置において、

前記ギア列の回転を規制する規制位置と、前記ギア列の回転の規制を解除する解除位置と、に移動可能な回転抑制部材を有することを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記回転抑制部材は、前記ギア列のうち、前記トナー収容容器へ駆動を入力する駆動入力ギアよりも上流側に配設されたギアの回転を抑制することを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記回転抑制部材は、前記ギア列のうち、駆動の減速を行う駆動伝達ギアの回転を抑制することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記回転抑制部材は、同時に複数の前記ギア列の回転を抑制することを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記回転抑制部材は、前記トナー収容容器が正規の回転方向と逆に回転する力が働いた場合、前記ギア列のうち前記回転抑制部材と対向するギアは食い込み勝手の関係となることを特徴とする請求項4に記載の画像形成装置。

【請求項6】

1つの前記駆動モータが2つの前記トナー収容容器を駆動し、且つ前記駆動モータの前記駆動ギアを正逆回転させると、前記駆動ギアに噛み合う揺動ギアが前記トナー収容容器の1つを選択的に駆動させる構成であり、

前記回転抑制部材は、前記揺動ギアの下流側に配置された前記ギア列に噛み合うことを特徴とする請求項1乃至請求項5のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項7】

前記回転抑制部材は、前記トナー収容容器の挿抜側を覆うカバー部材の開閉動作に連動し、

前記カバー部材を閉じた場合に、前記回転抑制部材が回転抑制を解除することを特徴とする請求項1乃至請求項6のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項8】

前記回転抑制部材は、可撓性を有する部材で構成されることを特徴とする請求項1乃至請求項7のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項9】

前記回転抑制部材は、トナー収容容器に高い負荷がかかった時に異音を発生させることを特徴とする請求項1乃至請求項8のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するための本発明の代表的な構成は、複数のトナー収容容器と、前記トナー収容容器を駆動するための駆動モータと、前記駆動モータに付帯される駆動ギアの駆動を前記トナー収容容器に伝達するためのギア列と、を有する補給駆動装置を備える画像形成装置において、前記ギア列の回転を規制する規制位置と、前記ギア列の回転の規制を解除する解除位置と、に移動可能な回転抑制部材を有することを特徴とする。